朝鮮社会科学者協会

通　報



1

2017

通　報

朝鮮社会科学者協会

累計番号 7

目　次

新しく結成されたチュチェ思想研究組織

△ ドイツのドレスデンチュチェ思想研究グループの結成

ドイツのドレスデンチュチェ思想研究グループの結成式が 2017 年 2 月 9 日に行われた。

ドイツの政界､社会界の人士､チュチェ思想研究者が結成式に参加した。

発言者は偉大な金正日総書記の誕生 75 周年に際して、チュチェ思想研究グループを結成することになったことを嬉しく思うと述べ､人類の自主偉業遂行の前途を指し示すチュチェ思想､先軍思想を研究普及し実践に具現することは進歩的人民にとって当然の本分であると述べた。

彼らはチュチェ思想、先軍思想の正当性と生命力は、朝鮮を孤立、圧殺しようとするアメリカと帝国主義連合勢力の策動がさらに悪辣になっているものの､世界的範囲でチュチェ思想研究者の隊列が引き続き増えていることから如実に実証されていると述べた。

そして、金正恩委員長の先軍革命指導を体し、朝鮮の軍隊と人民は偉大な金日成・金正日主義の旗の下に統一されて繁栄する社会主義強国を必ず打ち立てるであろうと強調した。

結成式では金正恩委員長に送る祝電が採択された。

△ ブラジル先軍政治研究センターの結成

ブラジル先軍政治研究センターの結成式が 2017 年 2 月 16 日､リオデジャネイロ州立総合大学で行われた。

ブラジル自由祖国党、光明星節慶祝ブラジル準備委員会、チュチェ思想研究センター、全国学生同盟、ブラジル朝鮮親善協会など政党、団体の人士と大衆が結成式に参加した。

討論者たちは偉大な金日成主席と金正日総書記、抗日の女性英雄金正淑同志の貴い革命生涯と不滅の業績について、金正恩委員長の偉人

像についてほめ称えた。

同日、ブラジル先軍政治研究センターの委員長は、インターネットのホームページにこういう文を載せた。

ブラジル先軍政治研究センターは朝鮮の先軍政治について研究普及するために努力する組織である。

先軍政治を知ることは今の世界で極めて重要である。

朝鮮がなぜ軍事を国事の中の第一の国事として押し立てたかを理解しなければならない。

いわゆる「閉鎖された国家」という見解が出回る中で、朝鮮半島の複雑で鋭敏な情勢を正しく把握するためには必ず先軍について知るべきである。

西側の言論は社会主義朝鮮にたいする誹謗に時間を費やしている。

それで人々は朝鮮が周辺諸国を脅威したり、進んでは核兵器でアメリカを打撃するために軍事力の強化に莫大な投資をすると考え違えている。

しかし、朝鮮は他人を脅威しょうと核を保有したのでは決してない。

先軍政治は正にその目的を説明している。

先軍は偉大な国家防衛戦略である。

先軍について理解するということは、朝鮮の強力な人民軍について理解するだけでなく、多くの勝利のページを記した朝鮮人民の歴史について理解するということである。

社会主義の基本政治方式である先軍政治は、人民軍の革命精神と戦闘力に依拠して祖国と革命、社会主義を防衛し全般的な社会主義建設を力強く促すようにする。

△ ドイツのベルリンチュチェ思想研究グループの結成

太陽節に際して、ドイツのベルリンチュチェ思想研究グループの結成式が 2017 年 4 月 14 日に行われた。

ドイツ共産党、ドイツ反帝フォーラムの人士とチュチェ思想研究者が参加した結成式では発言があった。

発言者たちは偉大な金日成主席が創始したチュチェ思想が進歩的人類の唯一の指導的指針となっており、世界的版図で広く研究普及されていることについて述べた。

彼らは意義深い太陽節に際して、チュチェ思想研究グループを結成することになったことを大きな喜びと光栄に思うと強調した。

結成式ではグループの責任者と副責任者を選出した。

また、金正恩委員長に送る祝電が採択された。

チュチェ思想セミナーが開催されたニュース

△ チュチェ思想と社会主義に関するロシア極東地域チュチェ思想セミナー開催

金日成主席の誕生105周年に際して、チュチェ思想と社会主義に関するロシア極東地域チュチェ思想セミナーがロシア極東地域金日成・金正日主義研究協会と連邦共産党沿海辺境委員会の共同主催で 2017年3月11日、ウラジヴォストークで行われた。

討論会場には金日成主席と金正日総書記、金正恩委員長の不朽の著作、社会主義の道一筋に進む朝鮮の誇らしい現実を紹介する図書が展示されていた。

ロシアの各政党、団体、チュチェ思想研究組織のメンバー、各界人士とウラジヴォストーク駐在の朝鮮総領事とロシアを訪問している朝鮮社会科学者協会代表団がセミナーに参加した。

参加者はまず、金日成主席の太陽像と金正日総書記の太陽像に花篭を謹呈し謹んで挨拶した。

討論会では祝賀演説の後、基調報告と討論があった。

連邦共産党の沿海辺境委員会第一書記であるドルガチェブは祝賀演説で、優れた思想理論家である金日成主席と金正日総書記、金正恩委員長によってチュチェ思想が創始され深化、発展された。ロシア人民はチュチェ、先軍の旗を高く掲げて帝国主義との対決で連戦連勝して社会主義建設を力強く早めている朝鮮人民の経験に学ぶべきであると述べた。

極東地域の金日成・金正日主義研究協会委員長クリコブは報告で次のように述べている。

金日成主席が創始し、金正日総書記と金正恩委員長が発展豊富化したチュチェ思想は、独創的な思想として人類の永遠の幸福と繁栄の道を示す革命学説である。

チュチェ思想の正当性と偉大な生命力は、朝鮮の現実で如実に実証されている。チュチェ思想研究普及活動を活発に繰り広げることは、ロシアの繁栄に大きな寄与となる。

ヤクチヤのチュチェ思想研究組織代表をはじめとした討論者たちは、チュチェ思想が自主と正義を志向する進歩的人民の間で大きな反響を呼び起こし、世界各国に広く普及されており、帝国主義連合勢力の悪辣な反社会主義攻勢の中でも朝鮮で社会主義の旗印が変わることなく固守されていることについて言及した。

彼らは今日朝鮮が金日成主席と金正日総書記の思想と偉業を継いで人民重視、人民尊重、人民愛の政治をおこなう金正恩委員長の賢明な指導の下に、社会主義の防衛戦と強国建設で世人を驚嘆させる成果を相次いで収めている。金正恩委員長を陣頭にいただいてチュチェの旗印をさらに高く掲げていく朝鮮の社会主義は生々発展するだろうと確言した。

討論会ではアピールが発表された。

アピールはチュチェ思想を真髄とする金日成・金正日主義は各国と民族の運命開拓の道を示す現代の偉大な指導思想であるとし、それにたいする研究普及活動をあまねく展開することについて指摘した。

討論会では金正恩委員長に送る手紙が採択された。

△　「自力更生―自主権のキー」に関するアジア地域チュチェ思想セミナー開催

金日成主席の生誕 105 周年に際して「自力更生―自主権のキー」に関するアジア地域チュチェ思想セミナーが 2017 年 3 月 17 日、スリランカの首都コロンボで行われた。

討論会場の正面には金日成主席の太陽像と金正日総書記の太陽像が掲げられていた。

「『自力更生―自主権のキー』に関するアジア地域チュチェ思想セミナ

ー」という懸垂幕が会場に掲げられていた。

討論会には、アジア地域チュチェ思想研究所理事長、書記長と理事、スリランカの各チュチェ思想研究組織の責任者が参加した。

スリランカの国会議員をはじめとした各界人士が賓客として招待された。

アジア地域チュチェ思想研究所理事長ハリシュ・グプタをはじめとした討論者は、自力に頼らず、他人の援助や支援に期待をかければ、真の自主権を実現することができないと言及した。

討論者は、あらゆる搾取と抑圧の中で虐げられている被抑圧人民を解放するためのキーポイントは自力更生である。人類の平和と幸福のための指針となるチュチェ思想は、自力更生の道を示していると述べた。

朝鮮民主主義人民共和国を不敗の社会主義政治思想強国、軍事強国として発展させた金正日総書記の不滅の業績と金正恩委員長が金日成主席と金正日総書記の遺訓を貫徹するための千万軍民の闘争を賢明に組織、指導していることについて彼らはほめ称えた。

討論者は、敵に恐怖を与えた水爆を開発した朝鮮の軍隊と人民は、アメリカ帝国主義があえて手出しをするならば挑発者を完全に掃滅するだろうと強調した。

討論者は、偉大なチュチェ思想と先軍の旗をさらに高く掲げ、自主的な新社会建設を目指す闘争に力強く奮い立つことを熱烈に呼びかけた。

討論会では金正恩委員長に送る手紙が採択された。

チュチェ思想国際研究所の主催の下に
チュチェ思想講習が行われた

チュチェの永遠なる太陽である金日成主席の誕生 105 周年に際し、チュチェ思想国際研究所が主催するチュチェ思想講習がチュチェ 106（2017）年 4 月 14 日、朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌で行われた。

講習には、チュチェ思想国際研究所理事長であるラモン・ヒメネス・ロペス、チュチェ思想国際研究所事務局長尾上健一とモンゴル、インド、コンゴ民主共和国、ギニア、ロシア、フィンランドなど、25 カ国からのチュチェ思想研究者 80 余名が参加した。

講習では、チュチェ思想を創始し、深化発展させた金日成主席と金正日総書記、敬愛する最高指導者金正恩委員長の不滅の業績とチュチェ思想研究普及活動をより活発に展開する上で提起される課題と方途を解説した 11 件の論文が発表された。

「金日成主席は世界の自主化偉業の実現に不滅の貢献をした人類の永遠なる太陽である」という題で、チュチェ思想国際研究所理事長であるメキシコのラモン・ヒメネス・ロペスは次のように解説した。

金日成主席は 20 世紀初、抑圧され虐げられていた人民大衆が自己の運命の主人となった時代の要求を反映して人類が進むべき前途を明らかにする不滅のチュチェ思想を創始し、チュチェ思想の旗の下に人類の自主偉業の遂行において歴史にいまだかつてなかった新たな転換期をもたらした。

金日成主席が世界の自主化偉業に積み上げた不滅の業績で重要なのはまず、自主時代の指導思想を創始し、人類の解放闘争の進路を明らかにしたことである。

チュチェ思想は、世界的範囲で国と民族が自己の運命の主体となり、自主的に、創造的に発展と繁栄を成し遂げる新時代を開いた。

世界の革命的人民を搾取と抑圧、支配と従属に反対し、自主性を実現するための闘争へと力強く立ち上がらせ、自主、独立、社会主義を目指す闘争を新たな高い段階へと発展させ、人類史の流れを支配と従属の時代から自主と創造の時代へ転換させたのは、チュチェ思想が人類解放闘争史にもたらした特筆すべき功績である。

金日成主席が世界の自主化偉業に積み上げた不滅の業績において重要なのはまた、自主化時代の流れを力強く推し進めたことである。

主席は、抗日武装闘争と厳しい祖国解放戦争を勝利へ導き、一世代に米日の二つの帝国主義強敵を打ち勝つことにより、植民地民族解放革命の新時代、反帝反米闘争の新たな高揚の時代を開いた。

主席は、一生涯反帝反米闘争の陣頭に立ち、世界制覇を夢見るアメリカ帝国主義の絶え間ない新たな戦争挑発策動をことごとく阻止し破綻させ、朝鮮半島と世界の平和と安全を守った。

主席は、正義と進歩をめざす世界の進歩的人民の闘争を私心なく援助した卓越した国際主義者、国際主義的信義の最高の体現者である。

主席は、正規的な革命武力も、国家的な後方もなく、つま先まで武装した日本帝国主義者と厳しい戦闘を行う困難な状況の中でも、中国の革命を血を持って援助し、初の社会主義国であるソビエトを武装をもって擁護するために血戦を展開した。

主席が解放直後、複雑な情勢の中でも中国人民の東北解放戦争の勝利のためにあらゆる措置を講じたのは、真実な国際主義的信義の手本である。

主席は、アメリカ帝国主義と直接対峙して朝鮮革命の膨大な課題を遂行すべき厳しい中でも民族的独立と新しい社会建設のためのアジア、アフリカ、ラテンアメリカをはじめ、多くの国の人民の闘争を物心両面で援助した。

実に、人類の自主偉業に捧げた主席の不眠不休の労苦は、何をもってしても計り知れないし、その過程で積み上げた不滅の歴史的功績によって主席は、世界革命の卓越した指導者、人類解放の救い手として世界の進歩的人類

の心の中に深く残っている。

太陽は永遠である。

主席が全世界の自主化のために積み上げた偉大な業績は、人類解放闘争史に末長く輝かき、主席は人類解放の救い手、人類の太陽として生き続けるであろう。

「金日成主席が創始したチュチェ思想は自主性を志向する人民の闘争の前途を明らかにする偉大な指導思想である」という題でギニア金日成農業科学研究所所長、チュチェ農業研究会会長であるセクナ・カマラは次のように論証した。

チュチェ思想が自主性を志向する世界人民の闘争の前途を明らかにした指導思想であるというのは、それが発展段階を異にする世界のすべての大陸と地域、国に住んでいる広範な人民大衆の本性的要求をもっとも正しく反映し、その実現をめざす方途を明らかにしている絶対的な真理であることを意味する。

チュチェ思想は何よりも、自己の運命の主人、自国の革命の主人として生き、発展しようとする世界人民の闘争の前途を照らす革命思想である。

チュチェ思想は自己の運命の主人は自分自身であり、自己の運命を切り開く力も自分自身にあるということを示した思想である。

人間、人民大衆を世界と自己の運命の主人として押し立てるチュチェ思想は、革命は輸出することも、輸入することもできないし、各国と各民族が主人となって自分が責任をもって遂行すべき聖なる事業であるという深奥な真理を教えている。

自国の革命の主人となってそれを主動的に掌握し前進させていく過程はすなわち、自主的に、創造的に革命をおこなう過程である。

結局、国と民族が自主的に、創造的に革命をおこなう道を示したチュチェ思想は、人民大衆の自主的発展を阻む事大主義、教条主義のようなあらゆる古い思想のしがらみから脱して革命の主人としての責任を深く胸に秘め、

自己の主な見解と信念にしたがって自らの創造力を引き出し、革命を遂行することのできる道を示した指針であると言える。

次にチュチェ思想は、自主性の原則にもとづく公正・平等な国際関係を確立し、自主的に生き、発展しようとする世界人民の闘争の前途を明らかにした革命思想である。

チュチェ思想は史上初めて自主性が国と民族において生命となるということを独創的に解明した。

チュチェ思想は自主独立国家の生命である自主性を守るために国際関係において自主性の原則を堅持することを要求する。

革命を進める国や党の間で自主性の原則にもとづいて相互尊重と信頼、内政不干渉の関係を確立し、国際的連帯を強化することにより、進歩的人類の革命運動を前進し完成させなければならないということは、チュチェ思想が押し立てている重要な要求である。

それだけでなく、チュチェ思想は全世界の自主化に関する思想理論を深化し発展させることにより、すべての国、すべての民族間に自主性にもとづく国際関係を確立し国際社会を民主化するためのもっとも明白な道を示した。

これは、チュチェ思想が自主性にもとづく国際関係を確立し、国と民族を単位にして自主的に生きようとする世界人民の志向と念願を全面的に反映している現代のもっとも偉大な革命思想であることを意味する。

進歩的人類が進む前進途上には依然として多くの試練と難関が横たわっている。

しかし、運命開拓の普遍的指針としてのチュチェ思想の地位は、絶対的で世界人民は必ずチュチェ思想を武器にして人間の自主性が完全に実現される自主化された新世界を建設しなければならない。

「金正日指導者は先軍政治によって、国と民族の尊厳と自主権を守りぬいた不世出の偉人である」という題で、先軍政治研究ネパール文学フォーラム委員長であるソンコル・プラサド・バロティは次のように強調した。

金正日総書記は、強力な軍事的抑止力によって、国と民族の尊厳と自主権を守り抜いた偉大な先軍の統帥である。

金正日総書記は、東西冷戦の朝米対決によって圧縮された厳しい情勢の下で、何人もわれわれの安全と尊厳を保証することのできない厳しい国際的現実を深く洞察し、決然と先軍長征の道を進んだ。

金正日総書記は軍事を最大の国事とし、軍力を第一の国力として精力的な先軍指導によって強力な軍事的抑止力を築いた。

朝鮮革命武力は、金正日総書記の先軍の旗印の下に無敵必勝の強兵に育った。

領袖に対する絶対的な信頼、領袖決死擁護精神で十分に武装した忠誠心の結晶体、戦略戦術的に、軍事技術的に、いかなる大敵も打ち破ることのできる最高の精鋭武力、強力な攻撃手段と近代的な防衛手段を備え、万一の場合、臨戦態勢を構えている強力な軍隊、戦うと言ったら戦い、戦えば必ず勝利する無敵必勝の強兵、これは偉大な先軍統帥の指導の下で育った朝鮮人民軍の必勝の面貌であり、百勝の気概である。

金正日総書記の精力的な先軍革命指導によって、朝鮮革命武力が無敵必勝の白頭山の革命強兵となり、主体的国防工業の威力は非常に強化され、全人民的、全国家的防衛体系が確立されることにより、朝鮮はいかなる大敵もあえて手出しをすることのできない軍事強国として国際舞台に堂々と立つようになり、民族の尊厳と自主権を守ることができるようになった。

最も厳しい情勢と難関、試練の中で朝鮮が「世界唯一の超大国」を誇るアメリカ帝国主義と立ち向かって社会主義を守り、先軍朝鮮の尊厳と栄誉、権威と気概を誇示したことは、世界を震撼させた政治的・軍事的奇跡であった。

この奇跡は、千万大敵が襲い掛かって来ても、天地風波が吹きまくっても微動だにしない金正日総書記の鉄の信念と意志、類なき胆力がもたらした歴史の必然であり、不抜の軍事力、威力ある軍事的抑止力のたまものである。

先軍の旗印を高く掲げて前進する朝鮮革命の前途は、楽観的であり、勝

利は確定的である。

偉大な金正日総書記がもたらした不抜の先軍の威力がある限り、民族の尊厳と自主権はしっかり守られるであろう。

「朝鮮の現実は、社会主義は科学であり、その勝利も科学であることを示している」という題でロシア金正淑同志名称の女性同盟委員長であるバビチ・エルナ・ウラジミロブナは次のように述べている。

科学の唯一の尺度は現実である。

その意味を 2016 年に朝鮮で起こった出来事を見てもよく分かる。

2016 年に朝鮮の名と戦略的地位が完全に変わる歴史の火山噴出が次々と起こった。

国防工業部門では、朝鮮式の最先端戦略武器開発で驚異的な出来事が連続して起こり、全国の人民に大きな力と勇気を与えた。

1 月には、水爆の保有を宣言し、6 月には戦略弾道ロケット「火星—10」の打ち上げ、8 月には戦略潜水艦の弾道弾「北極星」の水中試験発射、9 月には核弾頭爆発実験に成功した。

世界の軍事科学界を驚嘆させたこの大きな出来事によって、朝鮮は、一躍世界の軍事大国、東方の核強国として浮上し、朝鮮を絶対変数とする新しい力学構図が築かれた。

2016 年に万里馬（マンリマ）を駆る勢いで力強く突き進む中、国家経済発展 5 ヵ年戦略遂行の突破口が開き、経済強国の建設で大きな前進をもたらした。

朝鮮の勝利が科学となるのは、金正恩委員長の卓越した思想と政治があるためである。

領袖が偉大で、この世にまたとない強大な国が朝鮮であり、領袖が太陽のように前途を照らしているため、勝利が名のように輝く国がまさに朝鮮である。

金正恩委員長は、反帝反米対決と社会主義強国の建設のためのすべての活動を賢明に導き、現実で提起される理論的・実践的問題を鋭利な眼識で正

しく捉え、それを発展する時代の要請に合わせて独創的に解決している。

金正恩委員長は、人民大衆をこの世で最も貴い存在として見なし、人民を限りなく愛し、人民のためにすべてを捧げる人民重視の政治を行う偉大な政治家である。

金正恩委員長は、思索と実践の第一のポストに常に人民を立て、人民を天のごとく見なし、師として仕え、限りなく愛し、人民のためにすべてを捧げている。

金正恩委員長の人民重視の政治によって、党と国家の全般的活動が人民大衆第一主義として一貫され、人民のために滅私奉仕する気風が全国にみなぎっている。

人民に対する熱烈な愛情から始まり、人民のための徹底した滅私奉仕につながる政治であるがゆえに、金正恩委員長の政治は百戦百勝の政治、万能不敗の科学となるのである。

革命勝利の基本保証は、領袖を中心とする団結にある。

領袖を中心とする一心団結は、朝鮮の真の姿である。

金正恩委員長の周りに一心同体となって結束した朝鮮人民は、敵対勢力の策動を断固粉砕し、国の各地で自力自強の誇るべき建造物を雨後のたけのこのように建て、神秘的な速度で前進している。

躍動する朝鮮の気概は、一心団結の威力を如実に示している。

卓越した領袖の指導を受ける人民は常に勝利する。

それは、朝鮮の現実が雄弁的に示している絶対の法則であり、最高の革命科学である。

「金日成・金正日主義は人民大衆第一主義」という題で、バングラデシュのチュチェ思想研究所委員長であるセイク・モホド・ラピカル・イスラム・バブルは次のように解説した。

金日成・金正日主義は、人民大衆を世界で最も大事で有力な存在としておし立てる革命思想である。

金日成・金正日主義は、人民大衆は勤労する人々を基本にして、自主的要求と創造的活動の共通性によって結ばれた社会的集団であることを独創的に明示している。

金日成・金正日主義によって、人民大衆があらゆるものの主人であり、すべてを決定する基本要因、人民大衆を世界で最も大事で有力な存在、天のような存在として見なして対応するという偉大な思想が提示されるようになった。

金日成・金正日主義は、すべてを徹底的に人民大衆のために奉仕させることを総体的な目標、理想とする革命思想である。

金日成・金正日主義は、革命偉業、社会主義偉業は人民大衆の自主性を実現するための聖なる偉業であることを明示し、党と国家、軍隊は人民に献身的に奉仕するように建設されるべきであることを闡明した。

金日成・金正日主義の構成部分を成すチュチェの思想、理論、方法もすべてを人民大衆のために奉仕させるという内容で一貫されている。

人民大衆に対する献身的な奉仕、これは金日成・金正日主義の崇高な理念であり、そのため金日成・金正日主義は名実ともに人民大衆第一主義の思想となる。

金日成・金正日主義は、すべての問題を人民大衆に依拠して解決することを根本的要求、最高の原則とする革命思想である。

金日成・金正日主義は、すべての問題を革命と建設の主人であり、決定的要因である人民大衆に依拠して解決する以外に他の妙術があり得ないという絶対不変の確信に一貫されている。

金日成・金正日主義が明らかにした人間中心の哲学思想は人間、人民大衆の活動を基本にして、あらゆるものに対応する認識と改造の最も一般的な方法論を与え、人民大衆中心の革命理論と指導方法は、人民大衆の役割に基づき、それを最大に発揮させるための原理と原則、方向と方途を明示している。

一生涯、人民の中におられ、人民のためにすべてを捧げた偉大な領袖、偉大な指導者の革命思想であることにより、金日成・金正日主義は人類思想史に類を見ない人民大衆第一主義に特徴付けられるようになった。

人民大衆第一主義の革命思想である金日成・金正日主義は今日、金正恩委員長によって限りなく輝いている。

金正恩委員長は、偉大な金日成主席と金正日総書記の革命思想に対する全面的な分析に基づき、史上初めて金日成・金正日主義は本質において人民大衆第一主義であると定義を与えた。

世界には人民大衆第一主義より崇高な理念はない。

金日成・金正日主義は、人類の思想史に空前絶後の人民大衆第一主義であるため、昨日や今日だけでなく、明日も永遠に全世界に燦然たる光を放つであろう。

「朝鮮の最高指導者金正恩委員長は朝鮮半島と東北アジア、世界の平和と安全を固守していく不世出の統帥である」という題で、コンゴ民主共和国バンドンド総合大学の先軍政治研究グループの委員長ロラン・ベレ・ムケレンゲは次のように論証した。

敬愛する最高指導者金正恩委員長は、世界で誰とも比肩できない強い信念と強靭な意志、類なき胆力を備えた鋼鉄の統帥である。

金正恩委員長はいかなる難関にも微動だにせず、類いなき胆力をもって敵の挑発には即時的な対応打撃に、侵略戦争には正義の祖国統一大戦で断固対応した。

一身の危険を冒して敵との距離が数十 m しかならない五聖山のカチル峰と板門店、西南前線の最南端のホット・スポットの島の防御隊をたずね、人民軍兵士に必勝の信念と無敵の勇猛心を与え、せん滅的打撃の作戦的方案も教えた。

金正恩委員長は侵略者の挑発には即時的なせん滅的打撃を与え、それを祖国統一の聖戦へとつなげるという命令を下達し、そのための作戦計画に

最終のサインをした。

金正恩委員長は輝く軍事的英知と非凡な用兵術によって、軍建設の新たな最盛期を開く卓越した軍事の英才である。

金正恩委員長は、人民軍内に党の指導体系と革命的軍紀を徹底して確立するための革命的措置を講じ、人民軍を領袖の軍隊、党の軍隊として強化発展させ、その戦闘力を一段と強化している。

金正恩委員長は精力的な先軍指導によって、朝鮮人民軍を無敵必勝の最精鋭強兵として絶えず強化している。

すべての軍人を百戦百勝の金日成・金正日戦略戦術と勇猛果敢な攻撃方式、完璧な実戦能力を身につけた真のつわものに鍛え上げることを基本的な課題として打ち出し、その実現をめざす闘争を精力的に指導した金正恩委員長の賢明な指導によって、朝鮮人民軍はいかなる大敵が襲い掛かってきても一撃の下に撃滅できる革命武力として強化発展されるようになった。

金正恩委員長を戴いているがゆえに、領土も大きくなく、人口も多くない朝鮮がアメリカを頭目とする帝国主義連合勢力の反共和国圧殺策動を断固粉砕しながら朝鮮半島と東北アジア、世界の平和と安全を誇り高く守り、人類の自主偉業を主導していく不敗の砦として威容を轟かせている。

このように金正恩委員長が具現している先軍政治は、朝鮮半島で今のような安定を維持できる基礎となる。

指導者の優れた指導芸術につながる先軍は、このように国の平和と東北アジアの安定、そして世界の安全を保障する。

「人民大衆中心の朝鮮式社会主義は必勝不敗である」という題で、チュチェ思想研究フィンランド全国委員会委員長であるユハ・ペカ・キエクシは次のように述べている。

東ヨーロッパの社会主義が崩壊された20世紀の90年代にも微動だにせず、その後アメリカとその追随勢力の執拗な核脅威と経済制裁、思想的・文

化的浸透や孤立・圧殺策動の中でもいささかも動揺せず、固守され、今日は社会主義強国として浮上する社会主義朝鮮の現実は、世人を驚嘆させている。

朝鮮式社会主義の必勝不敗性はまず、不滅のチュチェ思想を指導的指針としているところにある。

チュチェ思想は人間中心の哲学思想と人民大衆中心の革命理論、指導方法が全一的に体系化された革命思想として自主性を目指す人民大衆の闘争の前途を明らかにする指導的指針であり、長期にわたる革命闘争の全過程にその真理性と優越性、不抜さの生命力が実証された独創的な革命思想である。

この偉大な革命思想を指導的指針としているところに人民大衆中心の朝鮮式社会主義の強固さと必勝不敗性がある。

朝鮮式社会主義の必勝不敗性はまた、領袖、党、大衆が一つの思想・意志によって固く結束された一心団結にある。

領袖、党、大衆の一心団結は朝鮮式社会主義の生命線であり、不抜の力の源であり、まさに朝鮮の社会主義が他国の社会主義と根本的に異なる本質的特性がここにある。

全人民が領袖を中心に思想・意志、道徳・信義の上で固く結束し、全社会が互いに助け導き合う一つの大家庭をなしている領袖、党、大衆の一心団結は、この世のどこでも見ることのできない朝鮮式社会主義の固有の特徴であり、尽きない力の源である。

朝鮮式社会主義の必勝不敗性はまた、人民大衆に絶対的に支持され信頼される社会主義であるというところにある。

朝鮮式社会主義は、人民大衆のために奉仕するため、人民は社会主義を自らの生と幸福の揺籃として考え、そこに自分の運命を全的にゆだねる。

朝鮮式社会主義は、人民の念願を立派に実現している最も人民的な社会主義である。

社会主義制度の下で朝鮮人民は、国家と社会の真の主人として自主的な人間の本性的要求に合う政治生活を思う存分享受している。

人民の運命にあくまで責任を持ち、見守る朝鮮労働党と国家の人民的施策は、平凡な日や厳しい試練の日にも変わることなく実施され、これは朝鮮人民が堅忍不抜の闘志を持ち、社会主義の防衛線に立ち上がらせる原動力となった。

人民大衆中心の朝鮮式社会主義は科学であり、真理であり、朝鮮式社会主義が勝利するのは歴史発展の法則である。

チュチェ思想が具現された朝鮮式社会主義は、人類の理想であり、朝鮮式社会主義を勝利の一路へ導く金日成・金正日主義は、人類の未来を照らす現代の永遠な指導的指針である。

「去る 5 年間に朝鮮で収められた奇跡と勝利は、金正恩閣下の賢明な指導のたまものである」という題で、ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会理事長であるフランスのエドモン・ジュブは次のように解説した。

社会主義朝鮮は、去る 5 年間に他国では考えられない天地開闢をもたらした。

領袖が構想を練り、党のすべての路線と政策が現実に開花するのが今日、社会主義朝鮮の現実である。

金正恩委員長の周りにすべての軍隊と人民が固く結束し、金日成主席と金正日総書記の遺訓と党の政策を決死の覚悟をもって貫徹する闘いの中で一心団結がさらに強化された。

朝鮮労働党第 7 回大会を契機に政治・思想強国としての社会主義朝鮮の威容は全世界に誇示された。

世界に空前絶後の青年強国を建設した社会主義朝鮮の将来は洋々たるものである。

社会主義朝鮮は水爆をも保有し核兵器の多種化、多様化、小型化を実現したアジアの核強国として浮上した。

経済強国の建設に力を注ぎ、原料、資材、設備の国産化を実現し、人民生活に必要なすべてを自力によって量産しながら工場、企業の近代化、無人

化を実現している。

文明強国の建設を推し進め、12 年制義務教育を実施し、人材強国化、全民科学技術人材化を急ピッチで推進しており、保健医療、スポーツなどすべての分野で立派な成果を収めている。

社会主義朝鮮がこの5年間に収めた勝利中の勝利は反帝、反米対決で連戦連勝したことである。

社会主義朝鮮が収めたこのような勝利は、卓越した金日成、金正日、金正恩指導者を仰いでいるためである。

金正恩委員長は、金日成・金正日主義の旗印を高く掲げている。

金正恩委員長は、全社会の金日成・金正日主義化を朝鮮労働党の最高綱領として宣布し、チュチェ革命偉業を勝利へ導いている。

金正恩委員長は、先軍の旗印を高く掲げて軍事強国の威容を世界に轟かせている。

銃剣によって切り開かれ、勝利してきたチュチェの革命偉業を銃剣の威力によってあくまで完成しようというのは、金正恩委員長の揺るぎない信念であり、意志である。

金正恩委員長の先軍指導は、革命武力を強化発展させる根本的源泉となっている。

今日、社会主義朝鮮は不敗の社会主義の砦として威容を轟かせている。

金正恩委員長が朝鮮革命の陣頭に立ち、自衛的核抑止力を中軸とする強大無比の軍力があるため、勝利は常に社会主義朝鮮にある。

金正恩委員長は、自国の革命は自力によって行うべきであるという金日成主席と金正日総書記の革命思想を基盤とし、自力更生、刻苦奮闘の闘争方式を具現した自強力第一主義を高く掲げ、社会主義強国の建設へ千万軍民を力強く立ち上がらせている。

社会主義強国建設の主要部門を現地指導しながら千万軍民を立ち上がらせて奇跡と勝利を収めている。

それゆえ、社会主義朝鮮のすべての人民軍将兵と人民は、金正恩委員長を朝鮮労働党と共和国の最高首位に高く戴いた大きな民族的矜持と自負を肝に銘じ、チュチェ革命の最後の勝利をめざして闘っているのである。

金正恩委員長の卓越した指導の下に金日成・金正日主義は、朝鮮人民だけでなく、世界の進歩的人類のために輝くであろう。

「社会主義強国建設をめざす朝鮮人民の闘争について」という題で、朝鮮社会科学者協会の書記長リ・ソンチョルは次のように述べている。

社会主義強国は、国力が強く、限りなく繁栄し、人民がこの世に羨むことのない幸せな生活を思う存分享受する天下第一の強国である。

社会主義強国の建設をめざすわが軍隊と人民の闘争において重要なのはまず、政治・軍事強国の地位を強化することである。

今日、わが国では金日成・金正日主義の宝庫を非常に発展、豊富化し、金日成主席と金正日総書記の思想と路線、遺訓貫徹を基本とし、生命線として堅持していくよう、賢明に導いた金正恩委員長の指導によって、社会の全構成員が真の金日成・金正日主義者としてしっかり準備され、全党と全社会の思想の一色化がより立派に実現された。

金正恩委員長の人民重視、人民尊重、人民愛の政治によって今日朝鮮は、党と人民大衆が血縁の絆で結ばれた渾然一体の国、革命的原則、自主的立場を確固と堅持し、国際の政治舞台で高い権威と影響力を堂々と行使する国、青年大軍が力強く前進していく政治・思想強国として威容を轟かせている。

偉大な先軍統帥の指導の下、今日朝鮮人民軍は百戦百勝の金日成・金正日軍事戦略戦術と英雄的戦闘精神、完璧な実戦能力を備えた白頭山の革命強兵として準備された。

今日、わが祖国はいかなる強敵もあえて手出しをすることのできない強力な戦争抑止力をもつ不敗の社会主義の砦として威容を轟かせている。

社会主義強国の建設を目指すわが軍隊と人民の闘争で重要なのは次に、

科学技術強国と経済強国、文明強国の高地に勝利の旗をなびかせるためのたたかいを力強く繰り広げていることである。

世界第一の威力ある政治・思想強国、軍事強国であるわが祖国を世界の先端を走る科学技術強国、経済強国、社会主義文明強国の地位にまで至らしめて白頭山大国の尊厳と威容を力強く轟かせようというのは、金正恩委員長の遠大な目標であり、鉄の意志である。

今日、わが祖国は帝国主義者の悪辣な制裁や封鎖の中でも新たな飛躍と繁栄の万里馬（マンリマ）時代を開き、科学技術強国、経済強国、文明強国を打ち立てるために疾風のごとく突き進んでいる。

人民の夢と理想のすべてが輝かしい現実として開花するわが祖国の活力ある姿から、わが軍隊と人民は不世出の偉人を高く戴いている大きな民族的栄光を胸に秘め、金正恩委員長がおられるので、わが祖国の未来は限りなく明るく、洋々たるものであるという確信に満ちている。

金正恩委員長を戴いているがゆえに、わが祖国は今後とも栄えある金日成、金正日同志の国家、不抜の社会主義強国としてその威容を世界に誇るであろう。

「確信をもってチュチェ思想研究普及活動と朝鮮の自主性を擁護するためのたたかいをさらに拡大していくであろう」という題で、イギリス先軍政治研究協会委員長であるドモト・ハドソンは次のように強調した。

革命と建設を成果的に遂行するためには、事大主義と外部勢力にたいする依存を徹底的に排撃しなければならない。

大国への追随は結局、革命を台無しにし、外部勢力に依存している国々の経験が示しているように外部勢力への依存は亡国の道である。

チュチェ朝鮮は、アメリカ帝国主義者と大国主義者に抗してたたかう自主の輝かしい灯台である。

アメリカ帝国主義と敵対勢力の類を見ない過酷な制裁や封じ込めの中でもチュチェ朝鮮が収めた大きな成果を通してわれわれは、チュチェ思想の

絶対的真理性についてさらに確信し、この思想こそ、誰もが見習うべき思想であると思うようになった。

いうまでもなく、チュチェ思想は搾取と抑圧、支配と従属のない新社会建設の道とともに自主と解放の道を示すもっとも革命的な反帝の思想である。

チュチェ思想は朝鮮人民と世界諸国人民ばかりでなく、帝国主義諸国の人民にも該当する思想である。

帝国主義者と反動勢力はチュチェ思想に反対しているが、チュチェ思想の牽引力は、敵がいくらチュチェ思想研究活動を妨害しようとしても一層強まっている。

したがって、われわれは自主の道を示す偉大な思想であるチュチェ思想研究普及活動をさらに拡大していく決意を固めている。

「金日成・金正日主義を信念化し、自国と世界を自主化するために奮闘しよう」という題で、チュチェ思想国際研究所事務局長尾上健一は次のように述べている。

現在、社会主義をめざす民衆のたたかいは、帝国主義との厳しい闘争のなかでおし進められている。

朝鮮では、領袖と人民が一心団結して帝国主義の圧殺策動をはねのけ、思想、技術、文化の三大革命を遂行する過程で人民の幸せが大きく開花している。

こんにち、朝鮮では金正恩委員長が人類がいまだ到達したことのない新しい段階のたたかい、社会主義偉業完遂をめざす闘争を賢明に指導している。

金正恩委員長は、社会主義偉業を完成し、人民大衆の自主性を完全に実現するためには、全社会を金日成・金正日主義化しなければならないと述べている。

金日成・金正日主義は、人民大衆の自主性が完全に実現された社会の真の姿と、その建設の合法則的道程、社会主義偉業遂行の全過程で堅持すべき戦略と闘争方針を科学的に示している。

まさに金日成・金正日主義は自主時代における世界人民が掲げる唯一の指導思想ということができる。

金日成・金正日主義の旗を高くかかげ、日々飛躍的に発展する朝鮮民主主義人民共和国の姿は、世界人民の胸に大きな希望を抱かせている。

金日成・金正日主義を研究普及する活動は、主体的政治力量をつくるうえで先行課題となる。

反動勢力の代弁者となったマスメディアは、こんにち朝鮮を誹謗中傷している。

しかし、朝鮮を誹謗すること自体に彼らの目的があるわけではない。

朝鮮への誹謗中傷は、朝鮮が世界の中でただひとり、民衆中心の社会主義をりっぱに建設しているがゆえにおこなわれているものである。

反動勢力は、人民に新しいチュチェの社会主義の優越性を知らせまいと躍起になっている。

朝鮮に学び朝鮮人民と連帯するたたかいは、帝国主義に反対し自国と世界を自主化する重要なたたかいとなる。

自国を自主化し、世界を自主化するためには反帝自主の旗を高く掲げていかなければならない。

金日成・金正日主義を信念化し、広範な人々に積極的に普及し、自国と世界を自主化していくたたかいがいまほど重要で切迫した時期はないと言える。

金日成・金正日主義の旗を高く掲げてたたかっていく道はもっとも崇高な道、勝利への道である。

世界のチュチェ思想研究者はたがいに手をたずさえ、この道を力強く歩んでゆこう。

講習を通して、チュチェ思想研究者たちはチュチェ革命偉業を切り開き、導いてきた金日成主席と金正日総書記の不滅の業績、そして金正恩委員長の先軍革命業績についてより良く分かるようになったといいながら、自国に

おいて自主と正義、平和のためのチュチェ思想研究普及活動を力強く展開する決意を固めた。





平壌でチュチェ思想国際研究所の主催の下にチュチェ思想講習が行われた

チュチェ思想研究者の交流会開催

金日成主席の誕生 105 周年に際して,チュチェ思想国際研究所の主催で老世代のチュチェ思想研究者と新世代のチュチェ思想研究者の交流会がチュチェ 106（2017）年 4 月 16 日、人民文化宮殿で行われた。

交流会には、太陽節に際して朝鮮を訪問している世界各国と地域のチュチェ思想研究組織代表団、代表が参加した。

交流会では、老世代のチュチェ思想研究者であるチュチェ思想国際研究所理事長ラモン・ヒメネス・ロペス、事務局長尾上健一、ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会理事長エドモン・ジューブ、チュチェ思想及び先軍政治研究ネパール記者協会委員長マンズ・ラトナ・サキヤ、ギニア金日成農業科学研究所所長セクナ・カマラが発言した。

彼らは何人たりとも比肩できない天才的な思想理論と指導力、鋼鉄の意志と知略を身につけた金日成主席の偉人的風格をほめ称えながら主席がチュチェ思想研究者に施した大いなる愛情と恩情について言及した。

限りなく広い度量と崇高な国際的信義を備えた主席は、多くの国々の民族解放闘争と反帝闘争、新社会建設を物心両面で支援したと彼らは強調した。

民族自主、人類解放の道を明るく示した自主時代の偉大な指導思想、チュチェ思想は、思想理論の天才である金日成主席だけが創造できるもっとも科学的で革命的な思想であるとし、彼らはチュチェ思想研究組織を結成し普及活動を行ってきた日々に収めた成果と経験を紹介した。

彼らは、アメリカと西側は軍隊と人民が不滅のチュチェ思想でしっかり武装し、敬愛する最高指導者金正恩委員長の周りに固く結束した軍隊と人民がいる限り、朝鮮の社会主義を絶対に崩壊できないと強調した。

金日成主席と金正日総書記の遺産であり、金正恩委員長が輝かせている朝鮮の社会主義は科学であり、その勝利も科学であるということについて彼らは激動的に吐露した。

インドチュチェ哲学研究委員会委員長ウィピン・グプタなどの新世代のチュチェ思想研究者は、新たな哲学的原理と社会歴史原理、革命と建設の指導的原則をもっとも明確に示す偉大な革命思想の信奉者となった誇りと自負を抱いて、チュチェ思想研究普及活動をさらに活発に進める意志を表明した。

交流会では金正恩委員長に送る手紙が、参加者の熱狂的な拍手の中で採択された。

交流会は永遠にチュチェの太陽を慕い、自主の新時代を輝かせようとするチュチェ思想研究者の心を込めた歌「われらはチュチェ思想の信奉者」の合唱で終わった。

平壌でチュチェ思想研究者の交流会開催











チュチェ思想研究組織代表団、代表との親善交歓会開催

チュチェ思想研究組織代表団、代表との親善交歓会がチュチェ 106（2017）年 4 月 17 日、朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌の風光明媚な綾羅島で行われた。

交歓会には、リ・キルソン朝鮮社会科学者協会副委員長をはじめとした協会のメンバーと太陽節に際して社会主義朝鮮を訪問しているチュチェ思想研究組織代表団、代表が参加した。

参加者は金日成主席と金正日総書記が創始し深化、発展させたチュチェ思想の信奉者となった誇りを胸に、金日成・金正日主義研究普及活動をさらに活発に進めることについて言い交わした。

彼らは親善チームと団結チームに分けられて多彩なスポーツ遊戯をおこない、歌も歌いながら親善の情を厚くした。





平壌でチュチェ思想研究組織代表団、代表との親善交歓会開催













チュチェ思想国際研究所事務局長の尾上健一に国際金正日賞授与

チュチェ 106（2017）年 2 月 15 日、チュチェ思想国際研究所の事務局長尾上健一に国際金正日賞を授与した。

授賞式では、国際金正日賞理事会の決定朗読後、理事会の提議によって賞状と金メダル、カップを金・永南朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会委員長がチュチェ思想国際研究所事務局長尾上健一に授与した。

事務局長は偉大な金正日総書記の誕生75周年を迎える意義深い時期に、平壌で総書記の尊名を冠した国際金正日賞を授与されたとし、次のように述べた。

国際的に権威と名望のある名誉賞を受賞された喜びと感激を一言や二言で言い表わせないことが実に残念である。

私たちは不滅のチュチェ思想を研究普及するための活動を数十年間、間断なく進めてきた。

チュチェ思想研究普及活動は誇り高く栄誉なことである。

しかし、決して容易なことではなかった。資本主義社会には隅々にまで資本主義の毒素が蔓延し、あらゆる不正義と社会悪が蔓延っている。

極度の人間憎悪の思想とエゴイズム、黄金万能、弱肉強食の生存競争が支配しているのが、ほかならぬ資本主義社会の現実である。

この中でチュチェ思想研究普及活動を行うことは、現実に氾濫する資本主義思想文化を克服するための自分自身との闘争を伴う。

今日、進歩的人民の心は、社会主義の砦である朝鮮に向けられており、広範な大衆は社会主義を信奉し、チュチェの真理を会得するために努力している。

私たちは今後とも、偉大なチュチェ思想の真髄を広範に研究普及するた

めの活動をさらに活発に展開していく。

チュチェ思想研究者たちは金正恩委員長がご健勝で先代の金日成主席と金正日総書記が切り拓き、指導してきたチュチェの革命偉業を勝利の道一筋に継承し完成していくことを切に願う。











平壌でチュチェ思想国際研究所事務局長の尾上健一に
国際金正日賞授与

社会政治学博士学位授与

タイのチュチェ思想研究組織委員長ソンチト･プルラプと民主コンゴのバンドンド総合大学の先軍政治研究グループ委員長であるロラン・ベレ・ムケレンゲは、偉大なチュチェ思想を自国の現実に具現して国と民族の発展と繁栄を遂げるための方途を長い間、深く研究して博士学位論文「主体性と民族性の固守と東南アジアの繁栄」と「チュチェ思想を具現したアフリカの危機克服と発展に関する研究」をそれぞれ執筆した。

彼らに朝鮮民主主義人民共和国の社会政治学博士学位を授与する儀式がチュチェ 106 (2017) 年 4 月 13 日、朝鮮の首都平壌の人民文化宮殿であった。

朝鮮民主主義人民共和国国家学位学職授与委員会委員長であるゾン･グァンホ内閣副総理、カン・チュングム国家学位学職授与委員会書記長、リ・キルソン朝鮮社会科学者協会副委員長、関係部門の幹部と太陽節に際して朝鮮を訪問したラモン・ヒメネス・ロペスチュチェ思想国際研究所理事長一行など、チュチェ思想研究組織代表団、代表が授賞式に参加した。

朝鮮民主主義人民共和国国家学位学職授与委員会の決定朗読後、ソンチト・プルラプタイチュチェ思想研究組織委員長とロラン・ベレ・ムケレンゲコンゴ民主共和国のバンドンド総合大学先軍政治研究グループ委員長に社会政治学の博士学位が授与された。

学位を授与された彼らは、チュチェ思想を創始し深化、発展させて人類共通の思想的・理論的財宝をもたらした偉大な金日成主席と金正日総書記、金日成・金正日主義の旗を掲げてチュチェの社会主義強国建設と世界の自主化偉業を導く金正恩委員長に心からなる感謝を申し上げた。また彼らは、チュチェ思想研究と普及活動をさらに積極的に展開し、真の愛国・愛民の一途を永遠に歩み続ける決意を表明した。



平壌でチュチェ思想研究者に
社会政治学博士学位授与

